

# Beans Phoenix No.4

【JA福井県産大豆の復活とさらなる飛躍を目指して】

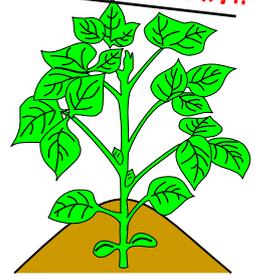
今年は播種後の天候に恵まれ、大豆の発芽や苗立ちなど生育は良好です。今後、培土・除草剤・排水対策など作業が重なりますので天候や生育を見ながら各作業を行いましょう。また、作業が遅れないように作業計画を立て早め早めの作業を心掛けましょう。6月末に営農指導員による発芽苗立ち調査を実施した結果を報告します。

## 1. 令和3年産大豆生育状況(6月30日現在)

栽培区分	苗立ち本数		草丈 cm	葉令	目標苗立ち本数		苗立ち 率	R2 苗立ち率
	m	m <sup>2</sup>			m	m <sup>2</sup>		
普通培土	13.6	18.3	14.8	1.9葉	12	16	113.3%	82.2%
狭畦密植	10.6	35.2	16.1	2.4葉	7	23	151.4%	98.6%

★現在の生育は昨年より良好、苗立ちは目標より多い状況です。

今年の発芽・苗立ちは良好!!



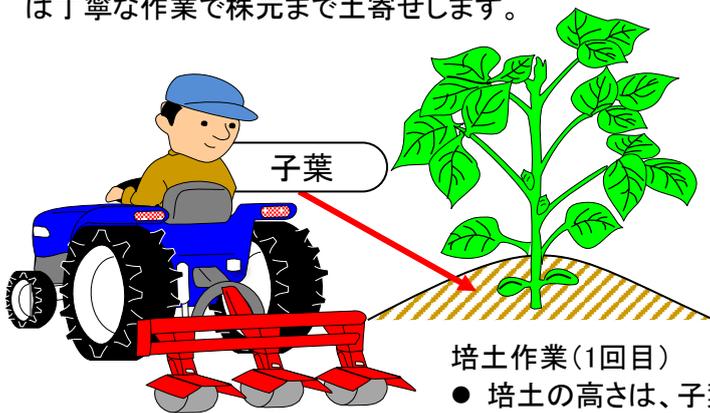
## 2. 里のほほえみ、高収量・高品質へのポイント

6月の降水量は平年に比べ少ない(平年比69%)状況のなか、大豆の生育は概ね順調です。今後、7月は重要な作業が多く、梅雨時期の天候(降雨)により作業が集中することが予想されます。各圃場に応じた管理に努めましょう。

### ①培土作業

開始～7月下旬。

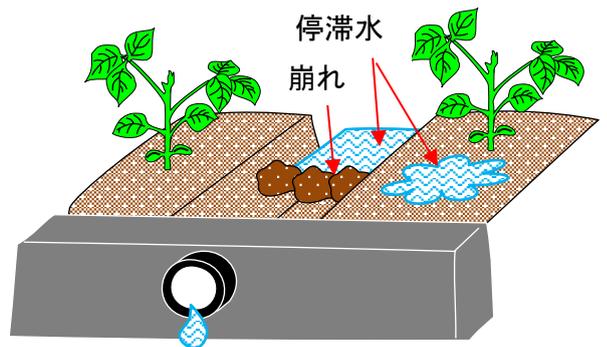
2回の培土作業でしっかり土寄せ。  
圃場の状態を確認し培土作業を開始しましょう。培土は丁寧な作業で株元まで土寄せします。



### ②排水対策

梅雨明けまで。

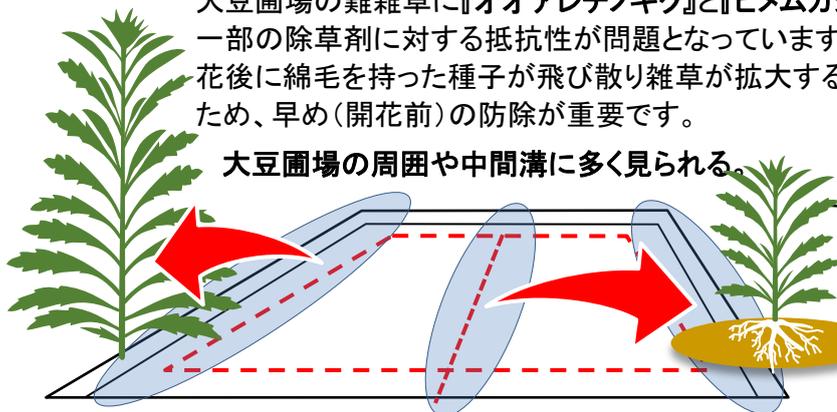
各圃場を巡回し、ゲリラ豪雨に備えましょう。  
圃場内の溝崩れ直し、停滞水を除去しましょう。  
梅雨の時期はスムーズな排水に努める。



## 3. 大豆圃場(周辺)の雑草管理

大豆圃場の雑草に『オオアレチノギク』と『ヒメムカシヨモギ』(キク科)があります。一部の除草剤に対する抵抗性が問題となっています。これらの雑草を放っておくと開花後に綿毛を持った種子が飛び散り雑草が拡大するため、早め(開花前)の防除が重要です。

大豆圃場の周囲や中間溝に多く見られる。



- ラウンドアップでは枯れない。
- 草刈り機で刈り取ると、根元から脇芽が沢山出てくる。



### 防除方法

オオアレチノギク・ヒメムカシヨモギ  
除草剤名 : パスタ 100~200倍